大口市山野の田の神

【所 在 地】伊佐市山野平出水

【種 別】県指定有形民俗文化財

【指定年月日】昭和43年3月29日



平出水王城大日如来田の神像である。長い仏衣の座像で,像の高さは 62cm。灰黒色の硬質岩で欠損はほとんどなく頭に宝冠を頂き,両の手で印を結ぶ。蓮台の下の台石に刻文があり田の神造立の由来などが記してある。「田の神はすなわち大日如来なり」と本地垂迹の立場にたって大日如来そのものを田の神として造立した珍しい例である。享保 6 (1721)年造立。廃仏毀釈の難をさけて地中に埋めてあったのを掘り出したといわれる。